



津山市地域おこし協力隊〈観光分野〉

下山 知久さん (下田邑)

津山生まれ・愛媛県育ちの29歳。広島大学・大学院を卒業後、民間会社に入社。学生時代に滞在型観光の事例を知り、観光分野に興味を持っていたことがきっかけで津山市地域おこし協力隊に応募し、平成30年4月に就任した。津山市観光協会に席を置き、観光施策の企画などに携わっている。



津山城（鶴山公園）で、ごんごまつりの花火大会の観覧席を案内する下山さん



滞在型観光プログラムの計画会議で話し合う下山さん



津山市地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは？

津山には両親の実家があり、幼い頃から夏休みや年末年始によく帰省して遊んでいました。その頃から、津山に対してとても愛着を持っていました。学生時代に中国地方の農村で、エコグリーンツーリズムという環境に優しい生活を体験する滞在型観光の事例を学び、観光分野に興味を持ちました。

社会人生活を送る中で、「子どもの頃から好きだった津山で暮らしたい」という思いが芽生え、津山市のことを調べていると、観光分野で地域おこし協力隊を募集していることを知りました。「津山に移住するチャンスだ！」と思い、すぐに応募しました。

どのような活動をしていますか？

「稼げる観光地経営の舵取り役を担うDMO<sup>ディー・エム・オー</sup>」という機能を津山市観光協会の中に構築するため、準備を進めています。例えば、宿泊付きの旅行プランや体験型の観光プランを用意するなど、観光客の皆さんが長時間、市内で過ごし、利用するお金が多くなる仕組みを作ろうとしています。

その一環として、滞在型観光プログラム（秋冬版）の計画を立てています。秋・冬の季節にちなんだモノづくりや、普段あまり経験することのできない希少な体験などのプランを企画中です。インターネットで「つやま小旅体験プログラム」と検索し、参加してもらえたらうれしいです。

津山の皆さんにメッセージを

10月は、市内各地で秋祭りが開催されます。神輿やだんじりなどの勇壮な姿を市内外の多くの人に見てほしいので、皆さんぜひ、家族や友人などに声を掛けて、一緒に津山の魅力を堪能しましょう。

7月に発生した豪雨災害により、鉄道がしばらく連休になったため、高校に通う子どもを度々、車で送迎しました。在ることが当たり前のように思っていた鉄道を利用できなくなる、ありがたさが良く分かりました。ふっと、自分が高校に通っていた頃を思い出し、近所の駅に行ってみました。いっしょー。(笑)

花火の撮影取材に初挑戦。とにかく難しかった…。「広報がいるのなら、ここはきれいに見えるに違いない！」と背後に陣取るお客さんに（…初心者です、ごめんなさい）と心の中で謝りながらあたふたしていると、隣の優しいベテランカメラマンさんがいろいろと教えてくださいました。来年も頑張ります！（笑）



編集・発行  
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)  
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029  
☎ 0868-32-2152  
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後リサイクル（資源）にご協力ください

☆広報津山はホームページで閲覧できます  
https://www.city.tsuyama.lg.jp/



☆津山のエンタメ情報はこちら  
https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou

